【記載例】

【様式第１】

令和２年１０月１日

　岡山県知事

　　伊原木　隆太　　殿

法人の印

岡山県岡山市北区内山下２－４－６

　　 　　　 学校法人　県庁学園

法人の場合：事務所所在地、法人名及び代表者氏名を記載

　　　　　　　　　　　　　　　　理事長　岡山　桃太郎

美容師養成施設指定申請書

このたび岡山県庁美容師専門学校を美容師法第４条第３項に規定する美容師養成施設としての指定を受けたいので美容師養成施設指定規則第２条の規定により関係書類を添えて申請いたします。

１　美容師養成施設の名称、所在地及び設立予定年月日

（１）施設名称：岡山県庁美容師専門学校

（２）施設所在地：岡山県岡山市北区内山下２－４－６

（３）設立予定年月日：令和３年４月１日

２　設立者の住所及び氏名（法人又は団体にあっては、その名称、主たる事務所の所在地並びに代表者の住所及び氏名）

（１）設立者住所：岡山県岡山市北区内山下２－４－６

（２）設立者氏名：学校法人　県庁学園

（３）代表者住所：岡山県岡山市中区古京町１－１－１７

（４）代表者氏名：理事長　岡山　桃太郎

３　美容師養成施設の長の氏名

　　佐藤　一郎

４　養成課程の別

昼間課程、通信課程

５ 同時授業の有無

同時授業ありの場合の入所者数等、別紙記入例あり

　　有（昼間課程、通信課程）

６　教員の氏名及び担当課目並びに専任又は兼任の別

　　別紙○のとおり

・教員の氏名及び担当教科一覧（養成課程、専任・兼任ごと）

・担当教科一覧（全体）

別紙様式及び記入例あり

７　生徒の定員及び学級数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | | 入学定員 | 定員 | 同時に授業を行う生徒の数（学級数） |
| 昼  間 | 通　　　常 | 名 | 名 | 名（　学級） |
| 理容修得者 | 名 | 名 | 名（　学級） |
| 通  信 | 通　　　常 | 名 | 名 | 名（　学級） |
| 理容修得者 | 名 | 名 | 名（　学級） |
| 合　　　計 | | 名 | 名 | 名（　学級） |

設置予定の全ての養成課程を記入する。(修得者課程も。)　設置しない養成課程は行ごと削る。(これは、夜間課程を削った状態です。)

８　入所資格

　　（１）通常課程

・昼間課程

学校教育法第90条に規定する者（これらの者と同等以上の学力があると認められる者を含む。）

・通信課程

学校教育法第90条に規定する者（これらの者と同等以上の学力があると認められる者を含む。）のうち、美容所で常勤として補助的な作業に従事している者

（２）理容修得者課程

・昼間課程及び通信課程

理容師免許を取得している者及び理容師養成施設を卒業している者

９　入所の時期

昼間課程（通常）　　　　毎年　４月

昼間課程（理容修得者）　毎年　４月

通信課程（通常）　　　　毎年　４月

通信課程（理容修得者）　毎年　４月

10　修業期間

昼間課程（通常）　　　　２年

昼間課程（理容修得者）　１年

通信課程（通常） 　　　 ３年

通信課程（理容修得者） １年６月

11　教科課程及び教科課目ごとの実習を含む総単位数

　　別紙○のとおり

別紙記入例あり

12　卒業認定の基準

（１）学則で定める必要な単位数を履修していること。

（２）教科課目の区分ごとに、その教科課目の出席状況が著しく不良でないこと。

（３）○○試験が必修課目○○点以上、選択課目○○点以上であること。

13　入学料、授業料及び実習費の額

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　 分 | | 入学料 | 授業料（月額） | 実習費（月額） |
| 昼  間 | 通　　　常 | 円 | 円 | 円 |
| 理容修得者 | 円 | 円 | 円 |
| 通  信 | 通　　　常 | 円 | 円 | 円 |
| 理容修得者 | 円 | 円 | 円 |

14　美容実習のモデルとなる者の選定その他美容実習の実施方法

（１）美容実習（実務実習を除く。）のモデルとなる者の選定方法

ア　対象

　　………。

イ　モデルを使用して行う実習の時期、場所、及び単位数

　　・実習の時期：○○

・場所：○○

・単位数：○○

（２）実務実習の実施方法

ア　実施時期及び年間時間数

　　・実施時期：○○

　　・年間時間数：○○時間

イ　場所（美容所名）及び管理美容師名

　　・場所：○○

　　・管理美容師名：○○

ウ　評価方法

　　………。

15　校舎の各室の用途及び面積並びに建物の配置図及び平面図

（１）校地の総面積　　　○○平方メートル

内訳　校舎 ○○平方メートル

その他　○○平方メートル（グランド、○○等）

（２）附近の見取図及び建物配置図：別紙○のとおり

（３）建物の構造　　鉄筋○階建

図面や表などは適宜別紙にするとよい。

（４）施設の各室の用途及び面積：別紙○のとおり

（５）各室の配置図及び平面図：別紙○のとおり

別紙記入例あり

16　設備の状況

平面図は、作業台や設備、機器等の配置状況や出入口等が具体的に記載されていること。

　　別紙○のとおり

別紙記入例あり

17　設立者の資産の状況及び美容師養成施設の経営方法

（１）設立者の資産状況

　　　貸借対照表：別紙○のとおり

別紙記入例あり

（２）美容師養成施設の経営方法

ア　内部運営組織の状況

　　………。

イ　経理方式

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 事業区分 | 数量 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
| 自己  資金 | 寄付金 | 借入金 | その他 |
| ○○年度  ○○年度 | 土地購入費  校舎建設費  備品費 | ㎡  　㎡ |  |  |  |  |  |  |

・新設、増設等に要した資金の財源内訳

・支出経費に対する維持方法（収支に欠損を生じた場合の補填方法）

　………。

18　指定後２年間の財政計画及びこれに伴う収支予算

（１）財政計画

○年度　歳入予算　　　　　円

　　　　　　　歳出予算　　　　　円

　 ○年度　歳入予算　　　　　円

　　　　　　　歳出予算　　　　　円

（２）収支予算：別紙○のとおり

別紙記入例あり

（通信課程に関する補足事項）

１　通信養成を行う地域

　　岡山県全域

２　授業の方法

（１）通信授業及び添削指導

別紙記入例あり

ア　教育計画：別紙○のとおり

イ　添削指導のための組織等

・教育相談窓口を設置し、随時質問・相談を受け付ける。

・通信授業及び添削指導に係る事務の一部を公益社団法人日本理容美容教育センターに委託する。（委託業務の内容：教本の配本）

（２）面接授業

別紙記入例あり

　　ア　教育計画：別紙○のとおり

イ　場所

・本校校舎

・その他　　○○○中学校校舎（施設の概況）

　　　 （対象：○○郡在住者、理由： 　　　　　）

３　課程修了の認定方法

　　次の認定基準を満たしている者について、校長が認定する。

（１）全ての添削課題を提出し、面接授業に出席していること。

（２）各学期末に行う○○試験が、○○点以上であること。

〔添付書類〕

１　設立者の履歴書（法人にあっては、定款、寄付行為等）

２　美容師養成施設の長の履歴書

３　専任教員の履歴書

４　兼任教員の履歴書

５　土地建物等の登記事項証明書の写し

６　建物建築請負契約書及び物品購入契約書の写し

７　教授用及び実験用の機械器具、標本、模型及び図書の目録

８　法人の設立認可書の写し

９　同時授業を行う理容師養成施設における過去２か年の入所者数（養成課程別）

10　学則

11　通信課程にあっては、通信養成に使用する教材

12　校外実習（選択課目）の実施方法（実施時期、時間数（１日当たりの時間数及び年間時間数）、実施場所の名称（美容所にあっては管理美容師の氏名を含む））及び評価方法の届出